

会場

聖隷クリストファー大学 1号館



アクセス



お車でお越しの方 >>>>

東名高速「浜松西 I.C」より浜松環状線を東へ約 3km。
「葵町」交差点を左折し、北へ約 2km。
「大谷バス停」交差点を右折し、東へ約 1km。「遠州栄光教会」交差点右折後すぐ。
※第一駐車場をご利用ください。
入出の際に黄色いボタンを押していただくと
ゲートが開きます。



バスでお越しの方 >>>>

JR 浜松駅北口バスターミナル、
遠州鉄道バス 15 番のりば「聖隷三方原病院経由気賀・三ヶ日行」に乗車。
「聖隷三方原病院」下車（所要時間約 45 分）、徒歩約 3 分。

お申込み



ウェブフォーム・電話のいずれかによりお申し込みください。

ウェブ： <https://www.seirei.ac.jp/information/20250513a/>
(QR コードからもお申込みいただけます。)



TEL. : 053-439-1400 (平日 10 時～17 時)

※申し込みは随時受け付けています。

お問合せ



聖隷クリストファー大学
地域連携推進センター

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町 3453

TEL. 053-439-1400

E-MAIL health-science@seirei.ac.jp



聖隷クリストファー大学

公開講座

2025

興味のある方は
どなたでも
参加できます

受講料
無料

1テーマ
から
受講OK!

全6テーマ

「このところからだの
健康のために
幸福を学ぶための
ヒント」

7/5
(土)

テーマ 1 (開場 12:30 講演 13:00～14:15)
「お口ポカン」って？
子どもたちの未来をサポート
～口腔発達のチェックとトレーニング～

テーマ 2 (開場 14:15 講演 14:45～16:00)
現代のこどもを取り巻く環境
～こどもが育つ街づくり～

10/11
(土)

テーマ 3 (開場 12:30 講演 13:00～14:15)
病気や障がいを抱える兄弟姉妹がいる
「きょうだい」と共に歩む地域づくり

テーマ 4 (開場 14:15 講演 14:45～16:00)
不器用児に対する支援について

10/25
(土)

テーマ 5 (開場 12:30 講演 13:00～14:15)
発達障害と「生きる」
～人生 100 年時代に考えておきたい、
子どもから大人までのこと～

テーマ 6 (開場 14:15 講演 14:45～16:00)
認知症とともに穏やかに生きるために

<後援> 社会福祉法人 聖隷福祉事業団、浜松いわた信用金庫、浜松市



聖隷クリストファー大学

公開講座 2025

全6テーマ

興味のある方は
どなたでも
参加できます

1テーマ
から
受講OK!

受講料
無料

「こころとからだの
健康のために
幸福に生きるための
ヒントを学ぼう」



<ごあいさつ>

聖隷クリストファー大学は、
保健医療福祉・教育の総合大学
として、地域と連携し、開かれた
相談窓口を設け、課題解決が
できるように活動しています。
皆様のお悩みを、各講座で
お気軽にご相談ください。

聖隷クリストファー大学
地域連携推進センター
センター長
金原 一宏

7/5 (土)

テーマ
1 開場 12:30
講演 13:00～14:15

「お口ポカン」って？
子どもたちのみらいをサポート
～口腔発達のチェックと
トレーニング～

お口は「食べること」「話すこと」「表情で伝えること」など
多くの役割があります。コロナ禍以降、常にお口が
開いている子供たちが多くなっていると言われています。
離乳食を含めて、お口の機能の発達のチェックと
トレーニングについて言語聴覚士から実演とお話を
します。
お口の機能発達から子どもたちの
みらいをサポートしましょう。

リハビリテーション学部
言語聴覚学科
教授 柴本 勇



テーマ
2 開場 14:15
講演 14:45～16:00

現代のこどもを取り巻く環境
～こどもが育つ街づくり～

大人が育ってきた環境と今のこどもを取り巻く
環境は大きく異なります。
デジタルに囲まれた生活、AI 社会、外遊びの少なさ。
こどもが安心して成長できるコミュニティを
考えていきましょう。

国際教育学部
こども教育学科
教授 鈴木 光男



10/11
(土)

テーマ
3 開場 12:30
講演 13:00～14:15

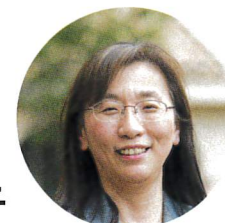
病気や障がいを抱える
兄弟姉妹がいる「きょうだい」と
共に歩む地域づくり

昨年度は、きょうだい会を運営する川北氏より
「親の立場」からきょうだいの気持ちについて
講演いただきました。それを踏まえた上で、
今年度は「きょうだいが望む地域づくりとは何か」を
皆さんと一緒に考えていきます。

<共催>

遠州こどもきょうだい会
ミントモ

社会福祉学部
社会福祉学科
教授 福田 俊子



テーマ
4 開場 14:15
講演 14:45～16:00

不器用児に対する支援について

漢字を覚えられない、字がマスからはみ出ちゃう
などの学習面、縄跳び、跳び箱、球技、自転車などの
運動が苦手、一生懸命頑張っているけど、
上手くいかない子は少なくありません。
子どもだけでなく、保護者や教員を含めた支援者も、
悩んでいるのではないのでしょうか？
子どもも大人もハッピーになるためのヒントを
持ち帰っていただければと思います。

<共催>

NPO法人むく

リハビリテーション学部
作業療法学科
教授 伊藤 信寿



公開講座 2024 も多くの方にご参加いただきました。



10/25
(土)

テーマ
5 開場 12:30
講演 13:00～14:15

発達障害と「生きる」
～人生100年時代に考えておきたい、
子どもから大人までのこと～

発達障害はずっと一緒に生きていくもの。
年齢によって考えなくてはいけないことは、
当然変化していきます。学童期、思春期を通り、
社会に出て、老年期を迎える時に、どんなことと
向き合う必要があるか、
一緒に考えていきましょう。

国際教育学部
こども教育学科
准教授 内山 敏



テーマ
6 開場 14:15
講演 14:45～16:00

認知症とともに穏やかに
生きるために

認知症の高齢者の中には、少し前の記憶が
思い出せない、また、ご自身が今どこにいるのかも
わからなくなり、不安な状態で暮らしている方が
沢山いらっしゃいます。
そのような方々の不安を軽減し、穏やかに日常を
暮らせるためのケアをご紹介します。

看護学部
准教授 木村 暢男



第2回生活支援協力員研修会

令和7年3月28日(金) 三方原協働センター ホール



移動支援分科会



家事支援分科会



各分科会の報告



令和七年四月二日(水)から四月三十日(水)まで浜松市立都田図書館第一展示室において三方原地区社会福祉協議会の活動内容の展示がおこなわれました。

都田図書館展示

三方原地区社会福祉協議会創立20周年おめでとうございます。栄えある20周年に当館で展示をしていただき光栄に存じます。展示いただいたガラス展示は正面入り口から入って右手に設置されており、貸出返却等のカウンター近くのため大勢の来館者をご覧になります。今回の展示も多くの方が足をとめていました。昨今はスマホで簡単に調べることができますが、図書館では書物や掲示物などから情報を得る方が大半です。来館者からも「このサービスはどうやって申し込みばいいの?」「行ってみたい」など展示に関心をもたれている様子がうかがえました。皆様の活動と同様に当館も来館者を支える情報を発信できる場でありたいと願っています。



都田図書館
館長 岡田 希

編集後記 本号では、今年度の役員紹介をはじめ、総会のご報告、新たに就任された自治会長の紹介、生活支援協力員研修会の様子、さらには図書館での展示についても取り上げました。地域を支えるさまざまな立場の方々の顔ぶれが変わる中で「支え合い」の形もまた少しずつ進化しています。新しい出会いが生まれ学びの場が広がることで福祉の輪がより大きくより強くなっていくことを感じました。誌面を通じて、地域の皆さまにもこうした活動の一端を知っていただければ幸いです。今後とも温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～広報部会 山本昌彦～



三方原地区社協だより



No.161

2025(令和7)年6月30日
三方原地区社会福祉協議会
三方原協働センター内 TEL・FAX 053-439-0865

令和7年度 三方原地区社会福祉協議会 顧問・相談役・役員名簿 <敬称略>

役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	城内 実	会計	中津川林太郎
顧問	鈴木 利幸	監事	栗林 清
顧問	齋藤 和志	監事	田嶋 宏一
相談役	中川 秀三	企画運営部会長	袴田 武
相談役	小倉 一夫	広報部会長	山本 昌彦
会長	富永 厚平	福祉交流部会長	木村 百合子
副会長	田村 勇次	子育て支援部会長	夏目 悦子
副会長	川越 正一	相談室部会長	松本 久夫
副会長	松本 順二	生活支援部会長	嶋田 博
副会長	和田 真人	事務局	山本由美子
副会長・事務局長	山本 千恵子		

三方原地区社会福祉協議会役員



袴田 武 山本昌彦 木村百合子 夏目悦子 松本久夫 嶋田 博 山本由美子
山本千恵子 松本順二 田村勇次 富永厚平 川越正一 和田真人 中津川林太郎

～～ 本号の内容 ～～

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1面▶三方原地区社協 顧問・相談役・役員名簿 | 3面▶三方原地区自治会連合会 新会長挨拶 |
| 1面▶本号の内容 | 3面▶新自治会長 紹介 |
| 2面▶三方原地区社協 会長挨拶 | 4面▶第2回生活支援協力員研修会 |
| 2面▶三方原地区社協 定期総会 | 4面▶浜松市立都田図書館展示・館長挨拶 |
| 2面▶三方原地区社協 新副会長挨拶 | 4面▶編集後記 |

会長挨拶 新年度を迎えて

今年度は三方原地区社会福祉協議会創立21年目となります。昨年度は、6月より「移動支援」を始め「スマホ広場」や「歌声広場」もスタートしました。スタッフ、ボランティアの努力もあり、全て順調に滑りだしました。サロン活動も充実してきました。

今年度は、総会の事業計画にも記載されている「わいわい広場」の新設、生活支援の強化、ホームページの見直し、各部会活動の調整等まだまだ検討箇所がたくさん見受けられます。又、上記を検討するには、当地区社協の体制を見直す必要も有ります。設備等の見直しにより現状では出来ない活動にまで範囲拡大が見込まれます。それには財源をはじめとし、スタッフ及びボランティアの助けが必要となります。三方原地区内の多くの団体と協力し、地域福祉の充実を目指し、あらゆる方面で少しずつの進展を夢見て努力前進していきたいものです。ご理解とご協力をお願いいたします。



三方原地区社協
会長 富永 厚平

令和7年度 三方原地区社会福祉協議会定期総会

4月19日(土) 於 三方原協働センター ホール



浜松市中央区
岡安 章宏 区長



来賓の皆様



浜松市社協浜松地区
高桑 映子 副センター長



当地区社協役員



会場風景

三方原地区社会福祉協議会 新副会長 挨拶

地域活動に関わり4年目となります。東三方町自治会の和田と申します。

「地域福祉には住民のつながり」が大切だと思います。若輩者で経験不足ではありますが、役員の皆様のご協力を得ながら、精進していきたいと考えております。これからも宜しくお願い致します。



三方原地区社協
副会長 和田 真人

三方原地区自治会連合会



新自治会連合会長 ご挨拶

前任の鈴木登志郎会長からバトンを受け、本年四月から三方原地区自治会連合会の会長を務めさせていただくことになりました。なお、初生町北第三の自治会長も務めております。その三方原・初生地区の課題のひとつであります交通量増加に伴う事故を抑制するために、各方面の方々が協力し合って『ゾーン30プラス計画』や交差点の『ラウンドアバウト』設置計画を推進しています。

また、当地区だけの問題ではありませんが、独居老人世帯や高齢者夫婦世帯が増えています。そのようなときに必要とされる様々な支援をされている三方原地区社協で、中心となって活動されている役員、民生児童委員、自治会長の方々には深く感謝申し上げます。今後益々必要とされる支援に向けて協力してまいりたいと思っています。よろしくお願いいたします。



三方原自治連
会長 大石 英典

新自治会長 紹介



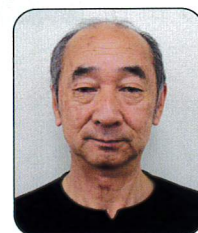
初生町南
大野木 龍太郎

初生に移り住んで15年になります。初南バイパスができ、農地が宅地に変わり変化のスピードに驚いています。初南自治会には350名を超える77歳以上の皆さんがおり、この10年で300世帯を超える皆さんが自治会に加入しました。多くは子育て世帯です。地域で子どもからお年寄りまで、顔の見える関係を築き、いざという時に助け合えるまちにしていきたいのでどうぞよろしくお願いいたします。



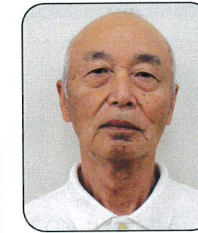
三方原町三方原南
片桐 富康

三方原南自治会の会長を務めさせていただきます片桐と申します。地域の皆様と、明るく住みやすいまちをめざしたいと思います。高齢化の進む中、住みやすいまちの為には、地域の絆は欠かすことはできません。三方原地区社協のスローガンにある「ささえ合い助け合うまち 三方原」となるよう、皆様の御協力よろしくお願いいたします。



三方原町三方原
鈴木 康示

三方原自治会の会長を務めさせていただきます鈴木康示でございます。地域活動に地域の一員として、活動が円滑に出来ますように微力ながら貢献させていただき、三方原地区の福祉交流が出来ますように努力させていただきます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



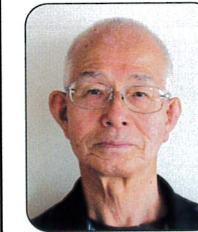
三方原町百里園
内山 哲司

今年度より、百里園自治会会長を務めさせていただきます内山哲司と申します。福祉交流を目指し「住みよい・安心・安全なまちづくり」のため皆様方と協力し、少しでも貢献してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



三方原町百園
小杉 知久

三方原町百園自治会の小杉知久と申します。三方原地区社会福祉協議会の皆さまが、生活支援、子育て支援、福祉交流など三方原地域の住民のために、20年にわたり尽力されていることに、深く感謝を致します。私も微力ながら、少しでも地域貢献に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



豊岡町
牧野 英夫

豊岡町自治会の牧野です。私は6年前に4年間、自治会長を務めさせていただきました。2年間自治会を離れましたが、再度自治会長を務めることになりました。地域の皆様と共に住み良い豊岡町を目指し、微力ながら貢献できればと思っています。宜しくお願いします。